

2023年12月1日

九州旅客鉄道株式会社

JR九州サービスサポート株式会社



循環型社会実現に向けた
“ボトル to ボトル”プロジェクトを開始します

九州旅客鉄道株式会社(以下、JR九州 本社:福岡県福岡市 代表取締役社長執行役員 古宮 洋二)及び JR九州サービスサポート株式会社(以下、JR九州サービスサポート 代表取締役社長 森 勝之)は、株式会社サーキュラーペット[※](以下、CPET 本社:東京都港区、代表取締役 エルワン・イノー)と共同で、2023年12月から、JR九州グループの各駅や列車内、駅ビルなどで排出された使用済 PET ボトルを回収し、CPETが 2023 年度中に運用開始予定の、PETボトルリサイクル工場へ供給し、再生 PET 樹脂へリサイクルするプロジェクトを開始します。

プロジェクト概要

プロジェクト名称	循環型社会実現に向けた“ボトル to ボトル”プロジェクト
プロジェクト目的	JR九州グループの各駅や列車内、駅ビルなどで排出された使用済 PET ボトルを回収し、再生 PET 樹脂へリサイクル。その再生 PET 樹脂を原材料とした、飲料用の PET ボトルとなることで、国内循環型 PET ボトルリサイクルを目指します。
回収予定場所	九州島内の JR九州グループの各駅、列車、および JR九州グループ運営の駅ビル、ホテル他
供給開始予定	2023年12月

< プロジェクトイメージ >



当社グループでは、このプロジェクトを通じて、全ての事業において地球環境との共生に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献するという基本理念に基づき、限りある資源の有効活用や廃棄物の削減を徹底し、循環型社会の実現に努めてまいります。

※「株式会社サーキュラーペット」について

株式会社サーキュラーペットは、回収された使用済みペットボトルを原料とし、再び PET ボトルの原料へ再資源化する「ボトル to ボトル」事業を行う企業です。2021年9月、ヴェオリア・ジャパン合同会社、三井物産株式会社、株式会社セブン&アイ・ホールディングスの三社によって設立されました。現在、岡山県津山市に PET ボトルリサイクル工場を建設しており、2024年春の稼働開始を目指しています。

事業を通じて、環境負荷低減や脱炭素化を推進し、豊かな地球環境を未来世代につないでいくため、循環型経済(サーキュラーエコノミー)の確立を目指しています。